

教務委員会

(1) 年度計画の実施状況

教務委員会の年度計画は、第3期中期計画の2カ年目に当たり、本年度から設置された新しい人文社会科学部としての新カリキュラムを順調に立ち上げることが年度計画の主要項目に記載されており、これに全力を注いだ。そのために、将来計画委員会が所管してきた業務のうち、教育関係の企画部分について委員会組織を改組し、新学科長を構成員に含む新しい教務委員会に統合することにより、業務遂行の円滑化を図った。

年度計画に係る委員会業務として本年度に実施したのは、ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーに基づくカリキュラムの円滑な実施、授業アンケート内容の改訂と実施方法の変更、サブメジャー・プログラムの実施設計、新しいメジャー・サブメジャー制の導入、カリキュラム理解深化のためのガイダンス強化、学びの転換とキャリア意識の涵養を旨とした共通シラバスによる大学入門ゼミ実施等を通じた初年次教育の充実、新たに導入したクォーター制を活用した授業の実施、クォーター制の問題点を含む初年次教育のFD(年2回)の開催、複数担任制への対応、「担任による修学指導(とくに連絡がとれない学生)対応方針」の策定等であり、多くの新しい課題に1つ1つ対処した。

(2) その他の活動報告：現カリキュラムの着実な実行と新カリキュラム開始の両立

平成29年度からの新カリキュラムがスタートに際し、企画機能の一部を新しい教務委員会に移管したため委員会機能を、①新カリキュラムに迅速に対応するため教育の企画・修正・改革を目的とする企画部会(委員長・副委員長・学科長により構成)と、②公平・公正性をもって現・新カリキュラムの着実な運営を管理する実施部会(委員長・副委員長・各学科の委員により構成)に分けて、企画部会は各月第1水曜日を定例として計13回、実施部会は各月第2水曜日を定例として計12回、合同委員会を年度当初と年度末に計2回開催し、年度計画を含む種々の課題に取り組んだ。各学科の教務関係ルーティンワークも含めて多大なる業務になったことについて、ご協力をいただいた学科長及び委員の先生方には厚く謝意を申し上げたい。

平成29年度教務委員会委員長：田中裕